

平成 18 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 全 日 本 空 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 山元 峯生
(コード番号 9202 東証・大証各第 1 部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 久 松 完
(TEL . 03 - 6735 - 1001)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえて、平成 18 年 1 月 31 日に公表した平成 18 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 業績予想の修正

平成 18 年 3 月期 連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,350,000	78,500	56,000	17,000
今回修正予想 (B)	1,366,000	86,000	64,000	23,000
増減額 (B - A)	16,000	7,500	8,000	6,000
増減率 (%)	1.2	9.6	14.3	35.3
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	1,292,813	77,774	65,224	26,970

平成 18 年 3 月期 個別業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,160,000	62,000	42,500	20,000
今回修正予想 (B)	1,170,000	69,000	50,000	27,000
増減額 (B - A)	10,000	7,000	7,500	7,000
増減率 (%)	0.9	11.3	17.6	35.0
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	1,100,448	64,308	52,417	10,401

2 . 修正の理由

国内線旅客事業につきましては、2月以降、特に3月の実績見込みが個人のお客様を中心に予想以上に堅調に推移したこと等により、国内線旅客収入は予想を上回る見込みです。

国際線旅客事業につきましては、北米線や欧州線を中心にビジネス需要が予想よりも旺盛であったこと等から、国際線旅客収入は予想を上回る見込みです。

以上の動向から、1月31日に修正いたしました業績予想を上回る売上高を確保できる見通しであるため、連結および個別の通期業績予想を修正いたしました。

(注)上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上